



# 世界の ミカタタイムズ



発行：学校から世界のミカタを考える会

気持ちのいい季節になりましたね。ちょっと！飲み過ぎたらダメですよ。

## もしかして、ネットワークブームが到来？！

3月に兵庫県で開催された兵庫OV教員研究会に参加させていただきました。

※OV=Old Volunteerの略語で JICAボランティア経験者のこと

きっかけは、全国OV教員研究会の丸山一則会長から「九州の教育系ネットワーク組織として一度是非参加してみないか」とお誘いを受けたことです。

全国OV教員研究会は、昨年12月に京都で開催された第一回全国OV教員・教育研究シンポジウムを契機に発足した全国規模のネットワーク組織です。

今回参加して感じたのは、ネットワーク型の組織は存在そのものに一定の価値があり、続ければ続けるほど、やめられなくなるものだったということです。

「毎回参加するわけではないけど、たまにふらっと顔を出してくれる先生がいるからやめられへんねん」

10年以上続くという兵庫OV教員研究会メンバーのつぶやきからも確かに地域の先生にとっての拠り所としての価値がそこに築かれていることがわかります。

福岡でも、ミカタがまだ産声をあげたぐらいの時期からの付き合いの先生がつい先日、任意団体（中間授業デザイン勉強会：<https://nakamanogakkou.jimdo.com/>）を立ち上げました。ファシリテーションスキルの向上、ICTの活用実践共有などを活動の軸にして、大きな目的はやはり「校種・職種・世代を超えたネットワークの構築」です。

管理サイドからのトップダウンではなく、現場サイドからのボトムアップで、次々にこのようなネットワークが出来上がってくることに、まさに社会が変わろうとしている血潮のようなものを感じてワクワクしますね。

一人が作れるものは一人の可能性に閉じられた小さな世界ですが、複数で寄り合い、多様な価値観をぶつけ合い、お互いを引き出し合い、対話をしながら生まれるのはもう誰にも予測できない大きな大きな世界です。

そもそも、この世界は予測不可能です。そんな予測できない世界が抱える様々な課題を解決できるのは、きっと後者のような多様な価値観のぶつかり合いが生み出すものだと思いますか？

一人で悩んでいる人がいるなら、ぜひ近くのネットワークに飛び込んでみましょう。

同じような悩みを持って、既に解決した人がいるかもしれませんよ。

世界のミカタはあなたの参加をいつでもお待ちしております。

インプロワークショップ実施報告  
どうしてインプロが国際理解教育なの？

インプロに乗ろう！  
ミカタマンガ

ミカタイムズでは初めましてのホワイトです。  
(メンバーにはそれぞれ設定カラーがあるの知ってました?)  
今回は先日実施したインプロワークショップの報告をします。  
インプロって何?という疑問に答えると長くなるのでレッド  
の記事 (<https://kodai-koji.com/impro>) を読んでください。  
手短かにインプロがどうして「国際理解教育」と関係あるの?  
というところにフォーカスを当てて書きたいと思います。

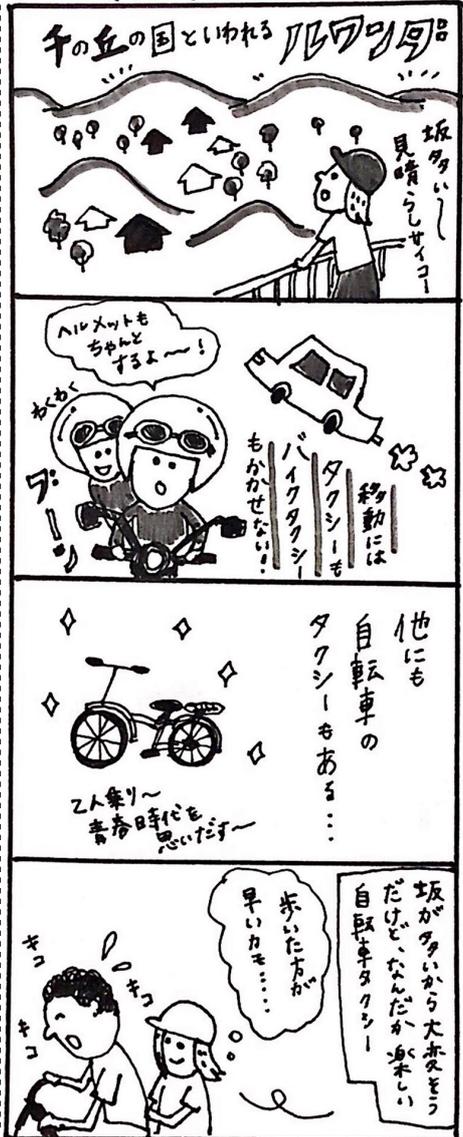
まさに今使ったように日常言語として既に市民権を得ている  
「フォーカス」ですが、これはインプロの大切な要素の一つでも  
あります。皆が何を今見て、何を考えているのか、はたまた物語  
はどこに向かうのか。会場の「空気」を見ることがフォーカスと  
言ってもいいかもしれません。そのフォーカスを全員が共有し、  
インプロが進行していくのです。

そして、このフォーカスの受け渡しにはコツがあります。  
それが魔法の言葉「YES」です。

どんなアイデアが出てきても、「NO (違う)」と言ってしま  
えば早々に立ち消えて、途端にフォーカスを失います。しかし、  
一見突拍子も無いアイデアだったとしても「YES」で繋いだとし  
たらどうでしょうか?さらにさらに受け取ったものに「AND」  
でアイデアを継ぎ足して、相手にまた返す。それを何度も繰り返  
して出てくるアイデアは決して一人では考えつかないステキなも  
のになりますよね。

これって、国際理解教育にも通じるすっごく大事なことです。  
受け入れられないような文化や考え方、思わず「NO」と言っ  
てしまいそうですが、それを「YES」と受け止め、新しい価値を  
作っていく力を育てることがインプロを通じてできると今回のワー  
クショップを実施して確信しました。

新学期、あなたも職場や学校でインプロしてみませんか?



今月の写真

ここはどこでしょう?



見ているだけで寒いですね...

Web上の画像はもう少し拡大できます。  
バックナンバーと合わせてどうぞ。  
「世界のミカタを考える会」で検索!

娘がつい幼稚園に入園です。  
大きな節目を迎え様々なことを思い出します。  
目が離せなかった0歳。好奇心が高まり、一人遊びも増え、私にも少し余裕ができた1歳。突然言葉数が増え、走り回るからまた目を離せなくなった2歳。  
成長は純粋に嬉しいものの、どこか寂しいですね。  
家族という小さなコミュニティだけでほとんど生活していた我が娘も集団生活の第一歩をスタート。  
国によっては自立を促すために、生後間もなくして親子の寝室は別々のところもあるそうですよ。  
娘が成長してから世界に目を向けるのかはわかりません。しかし、しっかり自立して、もしかしたら外国にまで視野を広げるかもしれない時を期待(覚悟)して、私自身も親としてそれを応援できるよう成長していこうと思います。

ちなつママの  
グローバル子育て日記

